

令和4年6月17日

発 言 者	発 言 要 旨
鈴木委員	<p>左沢高等学校の生徒が、総合型学習の時間に地域の交通安全状況についてフィールドワークを行い、小学生向けに「左沢小学校交通安全マップ」を作成した。このような取組みが他の学校にも広がっていくことが地域の交通安全にとって重要と考えるがどうか。</p>
保健・食育主幹	<p>当該資料を小学生に配付したところ、家庭に持ち帰って家庭でも話をするきっかけとなり、保護者の安全意識を高める点でも非常に意味があったものと承知している。今回のような交通安全をテーマにした自発的な取組みは、他県の実践事例を含めて教職員対象の指導者研修会において、今後各学校での交通安全教育を推進する上で参考にしてもらおうよう紹介している。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>住民目線で具体的な危険箇所が示されていることから、大変有効なものであり、交通安全に関する貴重な情報として、今後の警察活動の参考にするとともに、具体的な安全対策が必要と判断される箇所があれば、必要な対策を講じていきたい。</p> <p>また、このような交通安全活動に対しては、情報提供等必要な協力を行っていく。</p>
鈴木委員	<p>学校での交通安全の指導状況はどうか。また、地域の交通安全マップは各学校で作成しているのか。</p>
保健・食育主幹	<p>各小学校では、交通事故防止対策として、毎年、通学路の安全点検を実施し、交通量の多い道路や見通しの悪い道路等、危険な箇所を把握して、通学路安全マップを作成、配布する等の注意喚起を行っている。</p> <p>なお、マップの作成にあたっては、保護者や地域の方、地域全体で情報共有がなされ、交通安全意識を高めることにつながっている。</p>
鈴木委員	<p>交通安全協会への加入率はどうか。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>平成31年4月から令和2年3月末までに、免許を新規取得、更新した方の加入率は、37.1%である。加入率は減少傾向にあり、10年間で約8ポイント減少した。</p>
鈴木委員	<p>交通安全協会への加入率の減少に伴う、交通安全協会の経営への影響はどうか。</p>
参事官（兼）交通企画課長	<p>過去5年間を見ると、収入支出とも減少傾向にあり、経営にあたっては大変厳しい状況にあると聞いている。</p> <p>事業活動の主な収入は、会費収入、委託補助金収入、事業収入である。主な支出は、交通安全活動経費であり、職員の給与のほか、広報用の資材購入費、各地区交通安全協会への助成金等が含まれている。</p>
鈴木委員	<p>交通安全協会への加入率を上げるための取組みはどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
参事官（兼）交 通企画課長	<p>交通安全協会は、任意の加入者で組織する一般財団法人のため、警察から加入をお願いしたり、加入を呼びかけたり、また交通安全協会の経営に対して指導したりすることはできない。</p> <p>交通安全協会として、独自の特典を設けリーフレットを配付する等の取組みを行っている」と承知している。</p>
鈴木委員	<p>廃校数の推移はどうか。</p>
施設整備主幹	<p>平成 30 年現在、全国で小学校約 5,000 校、中学校約 1,500 校、高等学校約 1,000 校、計約 7,500 校が廃校となっている。</p> <p>県内の小中学校では、平成 14 年から 29 年にかけて小学校が 123 校、中学校が 34 校、計 157 校が廃校となっている。</p>
森田委員	<p>県立高等学校の解体計画はどうか。</p>
施設整備主幹	<p>酒田工業高等学校は、令和 3 年、4 年で計約 2 億円かけて解体を一部進めており、民家に近い区域にある旧土木科棟等を昨年度に解体し、今年度は、家庭科棟、トレーニング場、屋内野球練習場を解体する予定である。</p> <p>5 年度までに酒田工業高等学校の民家に一番近い一角は更地になり解体が終了する予定である。その他、体育館を含め本校舎等広い部分が残っているが、規模が大きいため令和 6 年度以降の事業として、その他の事業との兼ね合いも考えながら、今後検討していく。</p> <p>酒田工業高等学校以外の学校の解体については、予定が立っていない。</p>
鈴木委員	<p>小学生の通学時のマスク着用に関する指導状況はどうか。</p>
保健・食育主幹	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止と学習機会確保の観点から、マスクの着用を基本としつつ、熱中症の心配もあることから、十分な身体的な距離が確保できる場合、健康被害が発生する恐れがある場合、運動部活動、登下校の際にはマスクの着用は不要と学校に周知している。</p>
鈴木委員	<p>デジタル教科書の導入状況はどうか。</p>
義務教育課長	<p>デジタル教科書は指導者用と学習者用の 2 種類がある。指導者用は、令和 2 年度小学校で 64.1%、中学校で 80.0%導入された。</p> <p>一方、学習者用のデジタル教科書は、3 年度に小学校高学年と中学生に 1 教科分配付された。また 4 年度には、小学校高学年、中学生に外国語を含む最大 2 教科分配付されている。</p>
鈴木委員	<p>デジタル教科書のメリット、デメリットはどうか。</p>
義務教育課長	<p>メリットとしては、教科書の中に表示されている図や表等を拡大・縮小することで見やすくなる、教科書への書き込みが簡単にできる、動画又はアニメーション・音声で情報を入手することができる、英語ではネイティブな発音を直接聞くことができる等が挙げられる。</p> <p>デメリットとしては、視力や姿勢への悪影響、紙媒体の方が記憶に残る場合がある等が挙げられる。</p> <p>よって、どちらか一方ということではなく、それぞれの良さをうまく活</p>

発 言 者	発 言 要 旨
鈴木委員	用しながら、併用していくことが非常に大事と考えている。 児童生徒に配付したタブレットが学習以外で使われるリスクはどうか。
義務教育課長	学習以外で使用された事例も生じているため、情報リテラシー等を学校でしっかり指導する必要がある。一方で、学習以外を全て制限してしまうと、調べもの学習に支障をきたす場合もあり、難しいところである。フィルタリング等も行っているが、活用の仕方について十分指導しながら活用を進めていくことが大事と考えている。
森田委員	YAMAGATA ドリームキッズ事業の実績はどうか。
競技力向上・アスリート育成推進室長	これまで、227名の修了生を輩出し、現在は小学校4年生から中学3年生まで、146人が在籍している。応募者数は、毎年30人の定員に対し例年450人程度、約15倍の応募がある。 これまで、年代別日本代表として、国際大会に出場した修了生は12名である。
森田委員	指導者や予算の活用状況はどうか。
競技力向上・アスリート育成推進室長	年数回キャンプを実施するが、その際オリンピックを講師として招き、講話や指導を直接受けている。オリンピックには謝礼を支払い、事業を展開している。
森田委員	活動拠点となる施設があると良いと考えるがどうか。
競技力向上・アスリート育成推進室長	拠点となる体育館等があればいいが、そういう状況にはない。先日のキャンプについては、中山町の体育館で2日間、4月は南陽市の体育館で実施した。 県内各地の体育館の空き状況を見ながら事業を展開している状況である。
森田委員	県立学校における給食の食材購入への支援内容はどうか。
教育政策課長	食材購入費が高騰し、学校現場では対応に苦慮している中で、給食費を値上げせずにこれまで通りの栄養バランスと量をいかに確保していくかが課題となっている。保護者の負担軽減を図るため、新型コロナの臨時交付金を活用し、学校給食の食材購入費の上昇分について支援をするものである。 具体的には、事務の効率化の観点から保護者に直接助成するのではなく、各学校で給食を管理している給食会計に補助する形を想定しており、支援対象校は、給食を実施している県立特別支援学校、特別支援学校の寄宿舎、県立高等学校の夜間定時制、県立中学校の東桜学館中学校となる。
森田委員	学校給食における県産品の使用状況はどうか。
保健・食育主幹	地域への愛着や、生産者への感謝の気持ちを育む教育的な効果に鑑み、農林水産部と連携し、学校給食において県産品の活用を推進している。

発 言 者	発 言 要 旨
	令和3年度の県産品の利用状況は、米及び牛乳は100%、主要野菜は36.8%、果物は72.1%、追加品目の小松菜及び枝豆77.5%となっており、全て平均すると、56.5%となっている。
森田委員	新型コロナウイルスの抗原検査キットの追加購入について、検査キットの活用方法はどうか。
スポーツ保健課長	インターハイや、全国大会等への参加、夏季休業中の部活での県外との交流増を想定し、検査キットを必要とする学校に配布する。 県外との交流に起因する感染の早期発見につなげ、感染拡大防止を図り、日常の活動に近づけていけるよう努めていきたいと考えている。
森田委員	監督やコーチ、保護者も使用できるのか。
スポーツ保健課長	検査対象は、学校の生徒及び引率教員のみと考えている。
森田委員	遊佐高等学校の県外志願者数の状況はどうか。
高校教育課長	令和4年度入学者選抜の実施結果では、40名の定員に対し入学者数が24名となっており、そのうち県外からの入学者は推薦入学で4名、一般入学で3名の計7名となっている。
森田委員	県外からの入学者枠はどうか。
高校教育課長	小規模校では、推薦入学の定員は8名、一般入学の定員は2名となっている。ただし、一般の入学者数が定員に満たない場合はこの限りではない。
森田委員	遊佐高等学校以外の、県外からの志願者受入校はあるのか。
高校教育課長	県内唯一の学科がある学校として、加茂水産高等学校及び山形北高等学校である。小規模校として、小国高等学校である。来年度からの予定として、新庄北高等学校最上校及び新庄南高等学校金山校である。
今野副委員長	インターネット上の誹謗中傷に関する相談受理状況はどうか。
サイバー犯罪対策課長	過去5年間のインターネット上の誹謗中傷に関する相談受理件数は、平成29年126件、30年112件、令和元年91件、2年115件、3年121件であり、年間概ね110件前後で推移している。 なお、4年5月末現在は33件で、前年同期比で14件の減となっている。
今野副委員長	重大事案の発生状況はどうか。
サイバー犯罪対策課長	令和2年4月、SNSや掲示板サイトに飲食店関係者がコロナに感染しているかのように虚偽の風説を流布し業務を妨害したとして、山形警察署と米沢警察署でそれぞれ被疑者1名を逮捕している。
今野副委員長	特別支援学校の寄宿舎の利用状況はどうか。

発 言 者	発 言 要 旨
特別支援教育課長	<p>特別支援学校8校に寄宿舎を設置しており、小学部が3名、中学部が8名、高等部56名の計67名が生活している。</p> <p>各設置校の利用状況は、山形盲学校と山形聾学校が各7名、新庄養護学校と鶴岡養護学校が各9名、ゆきわり養護学校が4名、上山高等養護学校が15名、鶴岡高等養護学校が16名である。なお、米沢養護学校にも寄宿舎を設置しているが、現在入舎生がいないということから、休舎している。</p>
今野副委員長	寄宿舎入舎の基準はどうか。
特別支援教育課長	<p>寄宿舎は、原則として通学が困難な児童生徒のために設置している。保護者からの入舎希望を受け、入舎に係る検討委員会で検討し、校長が入舎の可否を決定している。</p> <p>通学困難の理由は、自宅が遠距離、交通手段が無い、家庭の事情等があり送迎ができない等があるが、一律に線引きすることは難しい状況である。</p>
今野副委員長	集団生活を通して自立心を育むことを考え、入舎を希望する家庭もあると聞いている。自立訓練の目的で入舎することも必要と考えるがどうか。
特別支援教育課長	<p>日常生活の指導等に関することは、学校と家庭が協力をして取り組むことを大切に指導している。</p> <p>特別支援学校の児童生徒は、学校卒業後に地域に戻ることになるので、幼少期から地域で育て、学校と家庭が協力し、学校の他にも関係機関と連携して保護者を支えながら、子どもたちを育てていくことが重要と考えている。</p>
今野副委員長	スクールサポートスタッフの配置、業務状況はどうか。
教職員課長(兼)働き方改革推進室長	令和4年度は小中特別支援学校に3年度比16名増の111人を配置した。従前は教員が行っていた文書資料のコピー等を中心に業務を行っている。
今野副委員長	同窓会会計、PTA会計、進路指導会計、教材費会計、修学旅行会計、生徒会会計等、様々な会計があるが、それらの管理の状況はどうか。
義務教育課長	<p>学校集金について、以前は現金を子どもたちが直接持参していたが、現在は口座管理となり、事務職員が一括で引き落とし、そこから必要な通帳に仕分けを行う運用となった。</p> <p>その後の学年会計等の具体的な会計事務については、各学年の担当教員が事務職員と連携して処理している。</p>
今野副委員長	教員以外でも対応可能な業務の状況はどうか。
教職員課長(兼)働き方改革推進室長	教員が本来行うべき業務に集中できるよう、スクールサポートスタッフ、部活動指導員、地域の方等の協力を得ながら業務に当たっている。
今野副委員長	高等学校へのスクールソーシャルワーカーの配置状況はどうか。

発 言 者	発 言 要 旨
高校教育課長	スクールカウンセラーは全ての県立高等学校に配置しているが、スクールソーシャルワーカーの配置はない。
今野副委員長	今後の配置予定はどうか。
高校教育課長	東北各県において、高等学校にスクールソーシャルワーカーを配置、あるいは派遣し、支援体制を整備している実態もあることから、本県においても高等学校へのスクールソーシャルワーカーの導入に向けて、検討していく。
今野副委員長	スクールソーシャルワーカーの身分、報酬はどうか。
義務教育課長	身分は会計年度任用職員、報酬は1時間あたり3,500円であり、加えて費用弁償となる。
今野副委員長	国民体育大会等の主催者側からの新型コロナウイルス感染症の検査要請の状況はどうか。
スポーツ保健課長	国民体育大会では、PCR検査を実施し陰性の場合には参加が認められる。今年8月に全国中学校のサッカー大会が庄内で行われるが、全国中体連では、生徒、顧問にワクチン接種証明書または陰性証明書の提出を求めている。